

本区の児童相談行政について



自由民主党
坂井 ひであき

問 札幌で大変悲惨な児童虐待事件が発生した。報道では、市の児童相談所と警察の認識のずれなどが指摘されているが、迅速な対応が取られなかったために最悪の事態を招いたと言える。厚生労働省は、全国の児童相談所長に徹底した対応を求めた一方、児童相談所側からは、子どもの安全確保をめぐってひっ迫した現状が訴えられた。現在、本区には児童相談所は開設されていないが、この事件と児童相談行政の現状についての認識を伺う。

答 札幌の事件は、関係機関が連携し、国の緊急対策等の徹底により防止できたと考える。本区では、通告受理後48時間以内の児童確認を徹底している。これに当たっては、関係機関と情報共有を図り、虐待の未然防止と早期発見につなげていくことが重要だと認識している。児童相談所との連携強化のため都と協定を締結した。引き続き対応強化に努め、職員育成や弁護士活用も図る等、子育て支援総合センターの機能をより一層充実していく。

問 児童虐待防止対策に関する関係府省庁連絡会議幹事会の検証結果によると、平成28年度の虐待による死亡人数は49人であるが、本区では虐待による死亡事例は過去にあったのか。

答 確認できる限りにおいて、本区での児童虐待による死亡事例はない。

問 児童虐待問題は、親への教育が重要と思われる。子育てに不慣れた親への教示はいかにしていくのか。

答 妊婦に対する面接や、乳幼児がいる家庭の訪問を行い、妊娠期から子育て期までの支援を行っている。様々なリスク要因を把握し、虐待防止につなげるためきめ細かい対応を図る。

選挙の投票率向上策を問う



立憲民主党
あべ きみこ

問 政府は投票しやすい環境を整備するため、法改正をしてきたが、区議会議員選挙の投票率は連続してマイナスポイントになっている。区民に一番身近な区議選の投票率が低くなることについて、区長はどう感じているのか。また、投票率向上の対応策を伺う。ショッピングモール等に投票所を設置する自治体が増えており、本区でも、文花団地内に開設する高齢者支援総合センターの活用や、来年開校予定の「専門職大学(仮称)」とも協議をしてキャンパス内に投票所を開設してどうか。また、商業施設等の活用も視野に、北部地域に期日前投票所を増設し投票率の向上を図るべき。

答 投票率が低くなったことを真摯に受け止め、特に若い世代の区政への関心を高める工夫を更に検討する必要性を感じた。「子ども連れ投票」の推奨、SNSの活用、中学校や高校で本物の選挙機材を活用した模擬投票・選挙の機会を増やすこと等について検討するよう、選挙管理委員会と協議する。ご提案の新たな期日前投票所の開設については、それぞれ協議が必要なこと、期日前投票所は面積比で23区平均を上回って設置していることなどから、今回の選挙と7月の参議院議員選挙の期日前投票の状況をよく検討した上で、更なる投票率の向上策も含め、選挙管理委員会と協議したい。

問 学校行事の在り方に関し、教職員の働き方改革、児童・生徒の安全を考えた学校運営について教育長の所見を伺う。

答 充実した教育活動が行えるよう学校運営の改善を図り、児童等に過度な負担等が生じぬよう計画的な準備をすること等を指導していく。

産業振興施策の新たな展開について



自由民主党
藤崎 こうき

問 ①これまで区は、優れたもののづくりの技術や質の高い製品をアピールする施策として、3M運動などを行ってきたが、地域の誇れる財産として、更に発展させるための施策強化が必要と考える。これまでの成果に対する評価と今後の取組を伺う。また、小さな博物館や地域ブランド事業など、現状の区内産業振興に効果があるのか疑問に思う施策もあるが、これらの施策の改善についての考えを伺う。②区内生産品の中には、工業製品も含め、すばらしい製品が多いが、区民の認知も低いため、来年の東京2020オリンピック・パラリンピックをビジネスチャンスと捉え、国内外に向け、パワーアップした産業振興施策を展開すべき。

答 ①3M運動等は一定の成果を上げてしていると評価しているが、長期にわたり実施しているため、状況の変化に応じた見直しも必要と考える。また、小さな博物館の運営補助基準の見直しなど、より意欲的な事業者の支援等を通じて事業の改善を図る。地域ブランド戦略は、事業の検証を通じて、ブランド戦略の再編を図り、これまで以上に区の産業施策全体の統一感あるブランディングを再構築していく。②来年度は国内外から注目が集まるチャンスと捉え、ものづくりのプロモーションを強化して情報発信するほか、東武鉄道高架下に設ける産業振興拠点で社会実験を展開し、新たな産業と観光の融合の姿を模索していく。

問 本区における住工混合に関し、騒音振動等環境改善資金の公害認定基準の検討状況について伺う。

答 議会からの意見も踏まえ、従前の要件を緩和し、事業者が利用しやすい制度とした。

聖火リレーのミニセレブレーションの開催を



自由民主党
たきざわ 正宣

問 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーのルートが発表され、本区には来年7月20日に江戸川区から聖火が入り、同日中に荒川区へ渡すことになっている。各日の最終地点ではセレブレーションという歓迎イベントが行われるが、中間の引継場所でもミニセレブレーションを行う場合があるという。大会レガシーを後世に残していくためにも、特色あるミニセレブレーションを行うことや、大会後に聖火リレートーチの展示などができるよう、大会実行委員会その他関係機関へ働きかけるべき。

答 聖火ランナーの出發や到着を祝うミニセレブレーションは、本区が培ってきた伝統文化や工芸などの魅力を世界に発信する絶好の機会となるので、その内容について検討するとともに、引き続き都と協議していく。また、トーチの大会後の展示については、聖火リレーが区民や子どもたちの心に残り、今後のレガシーにつながるよう、実現に向けて東京都聖火リレー実行委員会に要望していく。

問 墨田五丁目都市整備用地東側の主要生活道路について、住民から、見通しが悪く危険であるとの声が上がっているが、都との協議の進捗は。

答 事業計画や土地の権利関係、道路区域の取扱い、整備手法など様々な課題があるが、早い段階で方向性をまとめていく。

問 荒川氾濫時における広域避難について、江東5区による避難体制の早期整備と、住民への周知及び意識啓発に取り組むことを求める。

答 区長としてリーダーシップをもつて、実効性のある広域避難の実現に向けて、検討を進めていく。

保育園における使用済み紙おむつの処理について



日本共産党
としま 剛

問 保育園内で園児が使用した紙おむつは、園内で処理してほしいとの声が高まっている。区は、保護者に持ち帰らせる理由として、児童の健康状態の確認を行ってもらう必要があるとしているが、現実には紙おむつを確実に処理する実態はない。保護者の朝の準備の負担軽減、保育士の感染症対策、保育園帰りの買い物など周辺地区の環境衛生対策のためにも園内処理を早急に実施することを求める。

答 紙おむつの園内処理については、本年第1回定例会で陳情が不採択とされたが、この審査における意見を踏まえ、衛生面での検証、布おむつの無償貸出制度との整合、費用負担の在り方等、様々な視点からの検討を経た上で、慎重に判断したいと考えている。

問 高齢者の自動車運転免許の返納意識を高めるため、気軽に移動する手段として、区内循環バスの拡充が求められる。今後、ルート増設や双方向の運行を具体化すべきだが、区長の見解は。

答 区民の高齢化に伴う移動手段の必要性や、地域の課題、費用対効果も踏まえ、令和4年度からの次期運行協定に向け、来年度改定する観光振興プランに合わせ、総合的に検討を進めていく。

問 高齢者補聴器助成金の上限は2万円だが、片耳10万円以上のものを購入が増えている。実態に合わせた支援により更なる利用者も見込めるため、補助金の増額を検討すべき。

答 専門医と相談して、機能的には約4万円程度の補聴器が本制度に適すると判断し、その半額の2万円を助成限度額と設定しているのでご理解願いたい。

意見書(要旨)

選択的夫婦別姓制度の国会審議の推進に関する意見書

最高裁判所は、選択的夫婦別姓制度の在り方については、「国会で論じられ、判断される事柄にほかならない」と国会に委ねました。しかし、判決から3年が経過した現在も国会審議が十分に進んでいません。よって、国会及び政府に対し、選択的夫婦別姓制度に関する民法その他の法令について国会審議を推進するよう強く要望します。

児童虐待防止対策の更なる強化に関する意見書

国会及び政府に対し、次の事項について取り組むよう強く要望します。

1 「しつけによる体罰は要らない」という認識を社会全体で共有できるよう、周知啓発に努めるとともに、民法上の懲戒権や子どもの権利擁護の在り方についても速やかに結論を出すこと。

2 学校における虐待防止体制の構築や警察との連携強化、スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤー配置のための財政的支援を行うこと。

3 虐待防止のための情報共有システムを、全ての都道府県・区市町村で速やかに構築できるよう対策を講ずるとともに、全国統一の運用ルールや基準を速やかに定めること。

「労働者協同組合法」の早期制定に関する意見書

国会及び政府に対し、地方創生や一人一人が活躍できる社会の実現のため、次の事項について取り組むよう強く要望します。

1 非営利法人である労働者協同組合(仮称)の設立を可能とするため「労働者協同組合法」を早期に制定するとともに、労働関連法令の早期整備を推進すること。

2 簡便な手続きで設立できるようにするため、労働者協同組合(仮称)の設立は、準則主義によるものとする。

常任委員会の活動

企画総務委員会

開会日 7月2日(火)

案件 議案7件、陳情2件、報告3件

◆主な審査状況を紹介します。

可決 令和元年度墨田区一般会計補正予算(議案第3号)

オリピック・パラリンピック総合調整費、私立保育所保育委託費、東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)立体化事業費等として4億3510万円を追加するもの

東武伊勢崎線立体化事業の前倒しによるメリットについて

問 東武伊勢崎線の立体化工事を前倒しするための予算が組まれているが、これによって区の負担軽減につながる可能性があるのか。

答 工期の前倒しにより、全体の工期短縮を考えていく中で、少しでも経費削減に努力していきたい。

オリピック・パラリンピックの開催に向けて

問 今後、どのような気運醸成事業を展開していくのか。

答 例えば、フラッグを立てたり、カウンターボードを設置するなどして、気運醸成を図っていきたい。



可決 隅田公園再整備工事(その2) 請負契約

隅田公園の再整備工事(その2)を施行するもの

環境面への配慮を

問 再整備のために樹木を伐採することを、区の緑化施策に逆行している指摘してきたが、この間の議論を受けてどのような改善をしたのか。

答 樹木の代わりに芝生を多くし、緑の量を補った。ブロック舗装については、透水性舗装や遮熱性舗装を施すなど、環境面に配慮する。



再整備が進む隅田公園

可決 物品の買入れについて

災害備蓄用の保存食品を買入れれるもの

災害備蓄品の廃棄について

問 消費期限が迫っている備蓄品は町会・自治会等へ配布していると思うが、その上で廃棄している量は

答 アルファ米をはじめ毎年一定数の廃棄が発生している。サーマールリサイクルや再資源化を含め、できるだけリサイクルするよう努めていく。

採択 選択的夫婦別姓制度について国会審議の推進を求める意見書の提出に関する陳情

選択的夫婦別姓に関する民法その他の法令について国会審議を推進するよう、国会及び政府に対し、意見書の提出を求めるもの

国会審議推進についての意見書提出は賛成

意見 選択的夫婦別姓制度に対しては、様々な考え方があり、制度のメリット・デメリットの両論を併記した形での意見書提出を望む。

夫婦が同じ姓を名乗ることを強制する必要性があるのか

意見 社会として多様性を認め、個の尊重を進めていく大きな一歩になるとの認識から、この陳情は採択したい。

不採択 沖縄・辺野古の新基地建設中止などを求める意見書の提出に関する陳情

沖縄の民意に反する辺野古新基地の建設を中止すること、国防に係るない普天間基地の運用を停止すること、米軍基地の負担と安全保障について、沖縄のみならず日本全国が議論に加わることを実現するよう、国会及び政府に対し、意見書の提出を求めるもの

日本全国での議論が必要

意見 基地を沖縄だけに負担させるのではなく、日本全国で議論することが必要と考え、採択したい。

外交や安全保障等は国において議論されるべき

意見 外交や安全保障等は、高度な政治判断が必要であり、国において議論されるべきと考えため、不採択としたい。

地域子ども文教委員会

開会日 6月27日(木)

案件 議案6件、報告3件

◆主な審査状況を紹介します。

可決 墨田区総合体育館の管理運営に関する条例(一部改正)

墨田区総合体育館の施設の利用状況を踏まえ、ランニングコースの個人利用に係る施設区分を改めるもの

利用者への周知と丁寧な説明を

意見 ランニングコースの利用料金で入館して温浴施設のみを利用する人が多く、民業圧迫につながることは理解できるが、ランニングコースを利用している人に対し、料金形態が変わることの周知と丁寧な説明を求める。



墨田区総合体育館

可決 墨田区子どものための教育・保育給付に係る報告等の違反に対する過料に関する条例(一部改正)

子育てのための施設等利用給付に係る報告等の命令に従わない保護者等に対して過料を科する規定を新たに設けるとともに、題名を改めるもの

可決 墨田区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例(一部改正)

当該基準の題名が改められることに伴い、所要の規定整備をするもの

可決 墨田区保育所等の利用者負担額を定める条例(一部改正)

保育所等を利用する3歳から5歳までの子ども及び0歳から2歳までの一部の子どもの保護者等に係る利用者負担額を無償とするほか、所要の改正をするもの

可決 墨田区立幼稚園の保育料等に関する条例(一部改正)

保育料を無償とするほか、入園料を廃止するとともに、所要の改正をするもの

※この4議案については、子ども・子育て支援法等の一部改正による、幼児教育・保育の無償化に伴うものであることから、理事者から総括的な説明を聴取し質疑を行った後、議案審査を行いました。

幼児教育・保育の無償化に係る財源の確保について

問 幼児教育・保育の無償化に係る財源について、今回は臨時交付金での対応となるが、今後も国においてその財源を確保するよう、引き続き強く要求していくべき。

答 来年度以降は消費税を引き上げた分の税収を充てるとの方針が示されているが、区としても、区長会を通じて意見を上げていく。

細かなことへ目を向けた制度設計を

意見 細かなことへ目を向けて制度設計をしていくことが基礎自治体

である我々の役割だと考える。例えば、認可外保育所に子どもを預けている人たちが、家庭内で保育をしている人たちに対して、区として何ができるか、全庁的に議論していく必要がある。



報告 墨田区総合運動場の進捗状況等について

墨田区総合運動場の開場までのスケジュール、休場日及び利用時間、施設開放形式、ネーミングライツの導入等についての報告

こけら落としイベントは

問 今年12月1日に開場式典が予定されているが、こけら落としとして何かイベントを行う予定は。

答 テープカット等のセレモニーや来賓者向けの内覧会に加え、スポーツ選手を招いて子ども向けのかけっこ教室やフットサル教室などを開催したいと考えている。



墨田区総合運動場(完成予想図)

産業都市委員会

開会日 7月1日(月)

案件 報告7件

◆主な質疑状況を紹介します。

報告
プレミアム付商品券事業について

消費税及び地方消費税の引上げに伴い、低所得者、子育て世帯の消費に与える影響の緩和と、地域における消費の喚起及び下支えをするために実施するプレミアム付商品券事業の概要、スケジュールについての報告

前回を上回る取扱店舗数を目指すべき

問
前回の取扱店舗数は約600店であった。今回は、前回を超える取扱店舗数を目指すべき。

答
今回は、小売店舗と区別することなく、大型店も取扱店舗の公募をするなど工夫をしていきたい。

報告
「墨田区無電柱化整備計画」の策定について

区道における無電柱化の整備に関する計画である「墨田区無電柱化整備計画」策定についての報告

本密地域の路線を優先すべき

問
無電柱化の選定基準として都市景観が含まれているが、都市防災の機能強化が最優先されるべき。是非、本密地域の路線を最優先させてほしい。

答
広域的な防災や安全性の観点から、より多くの交通が見込まれる

る幹線や骨格となる路線の無電柱化を推進していく。これらが進んだ段階で、本密地域の中に広げていきたい。

報告
区立公園等による禁煙化について

改正健康増進法や新設都条例の施行に鑑み、区立公園や児童遊園においては原則禁煙とし、錦糸公園と隅田公園の大規模公園では、喫煙所のみ喫煙可とすることについての報告

利用者へしっかりした周知を

問
今回禁煙対象となる公園等はいくつあるのか。公園利用者への周知と、その定着を図っていくことが大事であると考えているのか。

答
区報、ホームページや現地の掲示板等いろいろな形で周知を行うとともに、現地での指導も行っていく。

報告
「平成30年度墨田区緑と生物の現況調査」について

区全域における緑と生物の現況、推移を把握するとともに、今後の緑化推進や環境保全施策の基礎資料とするために行った「平成30年度墨田区緑と生物の現況調査」についての報告

樹木被覆率を増やす努力を

問
区民の理解を求めながら樹木被覆地を広げていく取組は、環境行政の大きな課題であるが、今後、どのように進めようとしているのか。

答
今後、快適な都市環境を形成するための樹木の量や在り方について、検証と検討を進めていく。



区民福祉委員会

開会日 6月28日(金)

案件 議案3件、報告1件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
墨田区印鑑条例(一部改正)

住民基本台帳法施行令の一部改正により、住民票の記載事項に旧氏を加えられることに伴い、印鑑登録原票に登録する事項に旧氏を加えるもの

旧氏併記できるメリットは

問
旧氏併記にするメリットは、どのようなことが考えられるのか。

答
旧姓を住民票や印鑑証明、マイナンバーカードで証明することができるようになる。

可決
改正
墨田区特別区税条例(一部改正)

地方税法の一部改正に伴い、区民税の住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長等を行うほか、軽自動車税の環境性能割の創設等をするもの

軽自動車取得税の環境性能割の導入に伴う区税収について

問
都税であった自動車取得税を廃止し、環境性能割が導入され区税となった場合、税収の変化は。

答
区民税は増収となるが、台数等は明確ではないため、本年度予算では約400万円を計上している。

ふるさと納税について

問
各区市町村が努力や工夫を重ね実施してきたふるさと納税について、総務省が国の基準、考え方として規制をかけてきたことに対する区の考えは。

答
今回の法改正の趣旨は、特別区長会が行ってきた制度上の課題の是正要求の内容であると考えている。本区もふるさと納税により、すみだ北斎美術館への寄付を受けており、他自治体の努力等を見習い、更に魅力的な商品などを調達していきたい。



葛飾北斎「凱風快晴」

可決
改正
墨田区介護保険条例(一部改正)

介護保険法施行令の一部改正により所得段階が第1段階の第1号被保険者に係る保険料の軽減割合が改められ、第2段階及び第3段階の第1号被保険者に係る保険料を軽減することができるとされたため、当該者に係る保険料率を改めるもの

本区における対象者数は

問
低所得者は、介護保険料が月平均数千円の引下げとなるが、本区の対象人数は。また、消費税増税に伴う保険料軽減の一環とのことだが、今年と来年の2年限りの施策なのか。

答
保険料段階の第1段階から第3段階までの約2万4000人が

対象となり、被保険者に占める割合は約4割である。今回事示されている政令は今年度限りであり、来年度以降は、今後、改めて示される。

報告
ぶんか高齢者支援総合センターの開設について

地域包括ケアの推進に向けて、福祉総合型の施設として新たに開設する「ぶんか高齢者支援総合センター」についての報告

圏域以外の利用者対応について

問
現在の文花高齢者みまもり相談室も移転し、都営文花一丁目アパート内に設置されるが、移転前の相談室の利用者の中には、実際の生活圏は文花エリアであるにも関わらず、別の相談室を利用せざるを得ない方が出てくる。相談・利用等に支障が生じないか心配である。また、将来的に圏域の配置換え等を検討する可能性は。

答
高齢者支援総合センターは、八つの生活圏による地区割りを採用している。圏域以外の利用者には、職員が可能な限り対応しているが、個別の支援が必要な場合には、担当する圏域のセンターにつなげる。地区割りについては、安定的に運営できており当面はこれで行っていききたい。



ぶんか高齢者支援総合センター

特別委員会の活動

議会改革特別委員会

〔7月5日〕

本特別委員会の調査事項について

前期からの引継事項及び本特別委員会における当面の調査事項について確認した。

「墨田区議会基本条例の運用に係る検討課題」優先度Bの検討スケジュールについて

今年度における検討課題(優先度B)12課題の検討スケジュール案について協議し、案のとおり決定した。

検討課題整理に当たった際の検討シートの活用及び検討シートを活用した今後の進め方について

課題検討に当たっては、検討シートを活用し、各会派の意見の取りまとめや委員会での協議を行い、一定の結論が出たものについては、その結果を検討シートに整理し、議長に報告することとした。

検討課題NO.3「一般質問の一括方式・分割方式」及び検討課題NO.22「区長等の反問・反論」について

具体的な運用方法等について、各会派で意見を取りまとめ、検討シートに記入することとし、次回の委員会で検討シートを基に協議することとした。



令和元年度定例会6月議会 議決議案等の審議結果													○賛成	×反対
件 名			会派名等 () 内は会派所属議員数									議決結果		
			自民党	公明党	共産党	墨立憲	きすな	墨田オ	新すみ	都ファ	無所属		N国党	
			(12)	(7)	(5)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)		
区長提出議案	予算	令和元年度墨田区一般会計補正予算（議案第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		令和元年度墨田区一般会計補正予算（議案第14号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	条例	墨田区附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区総合体育館の管理運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区特別区税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区子どものための教育・保育給付に係る報告等の違反に対する過料に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区保育所等の利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		墨田区立幼稚園の保育料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	契約	文花子育てひろば新築工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		隅田公園再整備工事（その2）請負契約	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		小梅橋架け替えその他工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		物品の買入れについて	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	
議員提出議案	人事	東京都後期高齢者医療広域連合議会議員選挙における候補者の推薦について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可決		
	意見書	選択的夫婦別姓制度の国会審議に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
		児童虐待防止対策の更なる強化に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
		「労働者協同組合法」の早期制定に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
請願・陳情	陳情	選択的夫婦別姓制度について国会審議の推進を求める意見書の提出に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択		
		沖縄・辺野古の新基地建設中止などを求める意見書の提出に関する陳情	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	不採択	

【次の会議日程(予定)】

	会 議 名	開会時間	傍聴席
8月 19日(月曜日)	議会改革特別委員会	午前10時	17階
9月 3日(火曜日)	議会運営委員会	午前11時30分	
9月 9日(月曜日)			
9月 10日(火曜日)	本会議（9月議会初日）	午後1時	19階
9月 11日(水曜日)	本会議		
9月 12日(木曜日)			
9月 17日(火曜日)	地域子ども文教委員会		17階
9月 19日(木曜日)	区民福祉委員会		
9月 20日(金曜日)	産業都市委員会		
9月 24日(火曜日)	企画総務委員会		
9月 26日(木曜日)	議会運営委員会	午前11時30分	19階
9月 30日(月曜日)	本会議（9月議会最終日）	午後1時	

※この会議日程は予定ですので、変更が生じる場合があります。

会 派 等 の 所 属 議 員		
略 称	会 派 名 等	所属議員名（五十音順）
自民党	墨田区議会自由民主党	沖山 仁、加藤 拓、木内 清、坂井ひであき、坂井ユカコ、佐藤 篤、しもむら緑、たきざわ正宜、田中邦友、樋口敏郎、福田はるみ、藤崎こうき
公明党	墨田区議会公明党	おおこし勝広、加納 進、じんの博義、たかはしりこ、高橋正利、とも宣子、はねだ福代
共産党	日本共産党墨田区議会議員団	あさの清美、高柳東彦、としま剛、はらつとむ、山下ひろみ
墨立憲	墨田区議会立憲民主党	あべきみこ、中村あきひろ
きすな	地域連合「すみだの絆」	田中 哲
墨田オ	墨田オンブズマン	大瀬康介
新すみ	新しいすみだ	井上ノエミ
都ファ	都民ファーストの会墨田区議団	渋谷ちしゅう
無所属	無所属	堀よしあき
N国党	NHKから国民を守る党すみだ	かんだすなお

「すみだ区議会だより」を
ご自宅へお届けします

新聞を購読していない個人の方を対象に、「すみだ区議会だより」を無料でお届けする戸別配布を行っています。ご希望の方は、申込書に必要事項を記入の上、直接または郵送、ファックス、Eメールで区議会事務局までお申し込みください。
※申込書は、区議会事務局、区民情報コーナー（区役所1階）、各出張所、コミュニティ会館、地域プラザ等で配布しているほか、区議会ホームページからも出力可能です。
【お問合せ】
区議会事務局（区役所 15 階）
〒130-8640 墨田区吾妻橋一丁目 23 番 20 号
☎ 5608-6352 FAX5608-6415
Eメール：KUGIKAI@city.sumida.lg.jp



議員の寄附行為の禁止について

政治家や後援団体が選挙区内の人に金品を贈ることは、公職選挙法により禁止されています。
ただし、会費制の場合には、正規の会費を支払うのであれば禁止される寄附にはあたりません。会費を伴う行事の案内状等には、会費を明記していただきますようお願いいたします。



〔禁止される寄附の例〕

- お中元、お歳暮、お見舞い
- スポーツ大会、運動会、町会・自治会主催行事（盆踊りなど）への差し入れ・寸志
- 各種祭礼への贈答品・寸志
- 葬式・落成式・開店祝いの花輪
- 入学・卒業・就職祝い